

ArtemiS SUITE
Signal Processing

Code 51302

ASP 302 データ準備

ArtemiS SUITEのデータ準備を用いて、測定データ準備の為の複数のステップを自動化プロジェクト、標準化テストプロジェクト、メトリックプロジェクトに直接組み込むことができます。

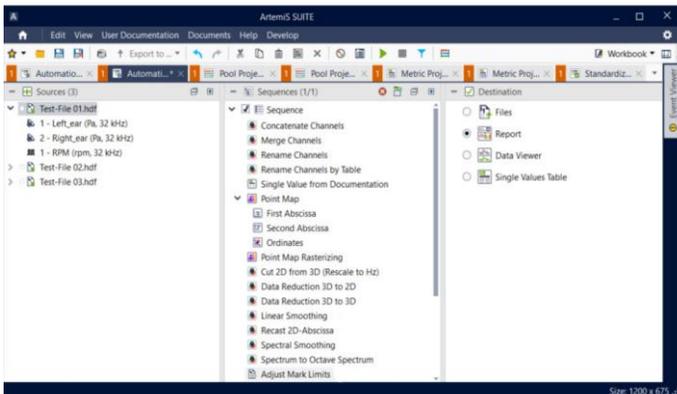
概要

ASP 302 データ準備

Code 51302

自動化プロジェクト（APR 050が必要）、標準化テストプロジェクト（APR 220が必要）、メトリックプロジェクト（APR 570が必要）のシーケンスに埋め込む為の測定データ準備の複数のプロセスが利用できます。

プロジェクトのシーケンス内で他の解析や処理タスクとプロセスを組み合わせ、マニュアル操作なしに自動実行することが可能です。



フィーチャー

ASP 302に含まれるプロセス：

- ＞ RPMによるMark
- ＞ シングルトリガーによるMark
- ＞ スタート/ストップトリガーによるMark
- ＞ 時間によるMark
- ＞ Mark範囲の調整
- ＞ フラグメントMark
- ＞ 線形スムージング
- ＞ スペクトルスムージング
- ＞ ポイントマップ
- ＞ ポイントマップ（グリッド）
- ＞ チャンネル差分ポイントマップ
- ＞ チャンネル統計ポイントマップ
- ＞ ファイル差分ポイントマップ
- ＞ ファイル統計ポイントマップ
- ＞ スペクトルからオクターブスペクトルへ
- ＞ チャンネル連結
- ＞ テーブルによるチャンネルの名前変更
- ＞ チャンネルのマージ
- ＞ チャンネルの名称変更
- ＞ 3Dから2Dをカット（Hzにリスケール）
- ＞ 3Dから3Dへのデータ削減
- ＞ 3Dから2Dへのデータ削減
- ＞ ドキュメントからの単一値
- ＞ チャンネルのソートまたは削除
- ＞ 2D-横座標の再構成

アプリケーション

- ＞ 自動化プロジェクトにおける測定データ準備プロセスの作成と実行。（マニュアル操作なしでワークフローを反復実行）

詳細

ASP 302 に含まれる内容

RPMによるMark

参照チャンネルからの2つの値に基づくMark定義。

シングルトリガーによるMark

単一トリガーに基づくMark定義。

スタート/ストップトリガーによるMark

2つのトリガーに基づくMark定義。

時間によるMark

時間範囲に基づくMark定義。

Mark範囲調整

Mark範囲の調整。

フラグメント MARK

1つのMarkから多セクションの自動作成。

線形スムージング

2D結果データの線形スムージング。

スペクトルスムージング

2D結果データのスペクトルスムージング。

ポイントマップ

3次元ポイントクラウドのグラフィック表示、通常2つの参照量に依存する単一値。

ポイントマップ（グリッド）

ポイントマップデータセットのデータ容量削減。

チャンネル/ファイル差分ポイントマップ

複数のポイントマップデータセットからの差分作成（チャンネル/ファイル）。

チャンネル/ファイル統計ポイントマップ

複数のポイントマップデータセットの統計処理（チャンネル/ファイル）。

スペクトルからオクターブスペクトルへ

任意のスペクトルを1/nオクターブスペクトルに変換。

チャンネルの連結

同様の構造を持つデータセットからのチャンネル連結。

テーブルによるチャンネル名称変更

テーブルを利用したチャンネルの名称変更。

チャンネルのマージ

複数のデータセットからのチャンネルマージ。

チャンネル名称変更

チャンネルの名称変更。

3Dから2Dへのカット（Hzにスケール変更）

3次元データセットから3次元曲線を抽出し、結果が周波数軸に対して表示されます。

3Dから3Dへのデータ削減

3D HDFファイルのデータ容量を削減します。これにより、横軸の解像度が低下し、よりデータ容量の小さい結果ファイルが生成されます。

3Dから2Dへのデータ削減

3D HDFファイルのスペクトルを2D HDFファイルに集約します。

ドキュメンテーションからの単一値

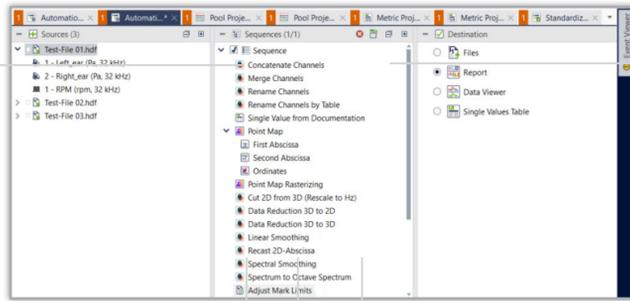
入力信号のユーザードキュメンテーションから単一値を出力します。

2D-横軸の再構成

時間またはRPMに対する2次元データセットの横軸の変更。

利用可能なプロセス

自動化プロジェクト



MARK 作成

- Mark範囲の調整
- RPMによるマーク
- シングルトリガーによるMark
- 開始/停止トリガーによるMark
- 時間によるMark
- フラグメントMark
- スペクトルスムージング
- スペクトルからオクターブスペクトルへ

HDFツール

- チャンネル連結
- テーブルによるチャンネル名称変更
- チャンネルマージ
- チャンネル名称変更

ポイントマップ

- ポイントマップ / (グリッド)
- チャンネル / ファイル差分ポイントマップ
- チャンネル / ファイル統計ポイントマップ

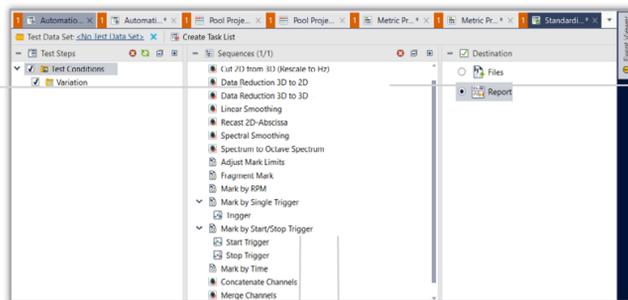
単一値

- ドキュメントからの単一値

その他

- 3Dから2Dカット (Hzにスケール変換)
- 3Dから3Dへのデータ削減
- 3Dから2Dへのデータ削減
- 2D-横軸の再構成
- 線形スムージング
- スペクトルスムージング
- スペクトルからオクターブスペクトルへ

標準化テストプロジェクト



MARK 作成

- Mark範囲の調整
- RPMによるマーク
- シングルトリガーによるMark
- 開始/停止トリガーによるMark
- 時間によるMark
- フラグメントMark

HDFツール

- チャンネル連結
- チャンネルマージ

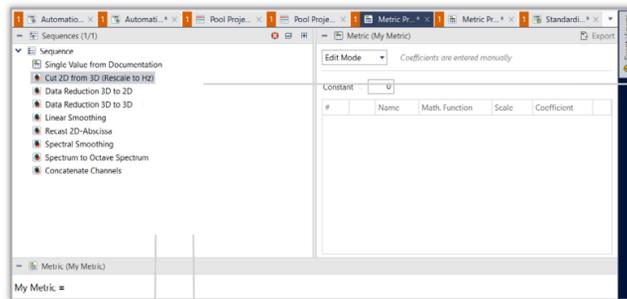
単一値

- ドキュメントからの単一値

その他

- 3Dから2Dカット (Hzにスケール変換)
- 3Dから3Dへのデータ削減
- 3Dから2Dへのデータ削減
- 2D-横軸の再構成
- 線形スムージング
- スペクトルスムージング
- スペクトルからオクターブスペクトルへ

メトリックプロジェクト



HDFツール

> チャンネル連結

単一値

> ドキュメントからの単一値

その他

- > 3Dから2Dカット (Hzにスケール変換)
- > 3Dから3Dへのデータ削減
- > 3Dから2Dへのデータ削減
- > 2D-横軸の再構成
- > 線形スムージング
- > スペクトルスムージング
- > スペクトルからオクターブスペクトルへ

要件： APR Framework (Code 50000)
and/or: HEAD システム統合 & 拡張
(ASX) プログラムインターフェイス



お問い合わせ

〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町 134
横浜ビジネスパークウエストタワー 8F

電話： 045-340-2236
Eメール： headjapan@head-acoustics.com
ウェブサイト： www.head-acoustics.com